

事業完了報告書

調査研究期間等

調査研究期間	令和3年5月14日 ～ 令和4年3月15日
調査研究事項	《委託研究：夜間中学における教育活動充実に係る調査研究》 I. 教育課程に関すること Ⅲ. 都道府県・市町村間の連携に関すること IV. 教職員の研修に関すること V. 環境整備に関すること VI. その他夜間中学における教育活動充実にに関すること
調査研究のねらい	<p>【横浜市立蒔田中学校】</p> <p>本市夜間学級には、年齢層、国籍、就学年数が異なる生徒が在籍し、そのほとんどが日本語指導を必要としている現状がある。また、就学年数によって国語・数学・英語の習熟度に顕著な差異がある。</p> <p>本市では、夜間学級の特性を踏まえ、夜間学級の専任教員を独自の基準により昼間の基準に加えて配置することや、副校長を設置校へ複数配置することなどにより、指導体制の構築、学校経営の充実を図ることとしている。</p> <p>また、日本語指導については、蒔田中学校の近くにある高校内に設置している日本語教室の利用のほか、課題別学習の時間を設け、個人の課題に応じた学習を行うことなどにより、日本語を含む基礎学力の一層の充実に取り組んでいる。</p> <p>さらに、生徒の入級については、既卒者等の受入など文部科学省の通知の趣旨を踏まえたうえで、教育委員会が希望者一人ひとりの状況を丁寧に聞き取るなどにより個々のケースに応じた細かな対応を行うこととしている。</p> <p>これらの状況を踏まえ、本市の生徒の現状に適した教育課程及び効果的な学習指導の実践に繋げる等、きめ細かな指導体制の構築及び教室等の教育環境整備など、更なる教育活動の充実を図ることをねらいとして、本調査研究を実施する。</p> <p>なお、令和4年4月には、相模原市立の「夜間中学」の開設が予定されている。これまでも、蒔田中学校において相模原市教育委員会の視察を受入れ、相模原市が新たに夜間学級を開設するにあたって必要となる教育課程や学校経営などから、細部にわたる部分まで情報を提供するとともに、視察以外にも連絡を密にとり、情報提供や連携強化に努めてきた。また、県下の関係市町村による夜間学級に関する会議が月に1回開催され、教育委員会事務局としても会議の内外で相模原市の開設準備における課題について、神奈川県や関係市町村に対して必要なノウハウの提供に努めてきた。今年度は開設を間近に控え、それらもより一層加速していくと考えられる。相模原市をはじめ、神奈川県や関係市町村とこれまで以上に緊密に連携を図り、関係市町村が一体となって相模原市夜間学級を開設して</p>

	<p>いくことができるよう、横浜市としても定期的な会合のほか、平素から連絡を密にとり、支援を行っていく。</p>
<p>調査研究の成果</p>	<p>(総括)</p> <p>横浜市内の夜間学級が蒔田中学校に統合され、8年目を迎えた。国語、社会、数学、理科、英語の5教科は、各学年で習熟度別少人数授業を実施。音楽、美術、保健体育、技術・家庭の授業は、学年ごとに実施し、夜間専任教諭がT2として授業に入り支援した。1校時の課題別学習（各自の学習面の課題を克服するために計画的に学習に取り組む時間）では、漢字練習や読書、日本語習得、さらには今年度配置された一人一台のChromebookを活用してのAIドリルに取り組むなど、これまで以上に個に応じた学びを実現することができた。</p> <p>外国籍または外国につながる生徒が多いため、習熟度別少人数授業を行ったり、横浜市教育委員会で実施している日本語教室の受講を勧めたりするなど、早期の日本語習得に努めている。8年前より英語と中国語の学習支援サポーターを配置しており、さらに、今年度はベトナム語の学習支援サポーターを配置した。授業中はもちろん、休み時間や面談の際に通訳として支援が得られるので、学習内容の理解の深まりや教職員とのコミュニケーションの深まりにつながり、生徒が安心して学校生活を送ることができていると感じている。</p> <p>今年度は、学び直して入級してきた生徒が多くなり、精神面での支援をはじめ、医療や福祉等の関係機関とも連携を図りながら、一人ひとりの状況に応じたきめ細かな対応に努めることができた。</p> <p>毎月実施している夜間学級全教職員が参加する担当者会議では、「主体的・対話的で深い学びの実現を目指す学習指導の充実」に向けて各教科の実践について意見交換をしたり、研修を実施したりすることで、夜間学級全体において基礎・基本の充実と分かる授業の徹底を図り、魅力ある学習指導の実践につなげることができた。</p> <p>令和4年4月の相模原市の夜間中学設置に向けては、5月の視察受入れや定期的な情報提供、県下の関係市町村による夜間学級に関する会議への参加など、連携強化に努めることができた。さらに、県外の市町村からの夜間中学設置に向けての問い合わせも多くあり、情報提供や学校見学等にも積極的に協力し、対応することができた。</p> <p>(個々の実施内容及び成果)</p> <p>【契約締結後】</p> <p>○ 学級担任との教育相談（二者面談：3日間）</p> <p>目的：一人ひとりの生徒の現状について把握し、自己実現に向けた手立てについて検討する。</p>

内容：日本語と英語の理解度について、学習について、横浜市日本語教室（集中教室）への参加について、長期休業中の様子について、生活や体調・仕事・心配事について、学校生活における不安について、卒業後の進路についてなど。

【成果】 新生を中心に、入級の目的やこれまでの経緯など、一人ひとりの状況を丁寧に聞き取りながら課題や目標を共有することができた。目的をもって安心して学校生活を送ることにつながるきっかけの場にすることができた。

○ 研究テーマおよび年間計画の確認

○ 補助教材の選定

生徒の学力、日本語の習熟度等に応じた補助教材を検討・決定。横浜市日本語教室（集中教室）との連携について。

【成果】 学力や日本語の習熟度についてアセスメントを行い、習熟度別少人数授業のクラス分けを行った。日本語指導には、（財）三重県国際交流財団発行の日本語指導のテキスト「みえこさんの日本語」を活用することとした。

○ 相模原市教育委員会と夜間中学開設にあたって必要となる学校経営に関する情報共有

○ 経済的負担を考慮した効果的な学校行事や校外活動等の在り方について

・遠足、修学旅行の検討・準備

○ 中学校夜間学級設置準備協議会への参加を通じた情報提供等関係自治体との連携強化

【5月】

○ 夜間学級担当者会議の実施

内容：生徒情報の確認、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」における指導上の工夫や課題について、習熟度別少人数授業の在り方について など。

【成果】 学び直しの生徒が増え生徒指導が多様化しているという課題については、情報共有をきめ細かく行い、共通認識のもと生徒対応にあたっていく。また、各教科の指導上の工夫を学び合い、研究授業や授業改善に生かしていくことを確認した。

○ 経済的負担を考慮した効果的な学校行事や校外活動等の在り方について

内容：新型ウィルスの感染拡大を踏まえ、今年度実施する各行事の見直しと内容の検討

・遠足は6月、修学旅行は11月に延期

・遠足、芸術鑑賞の検討・準備

○ 相模原市教育委員会と夜間中学開設にあたって必要となる

学校経営に関する情報共有、相模原市教育委員会による視察の受入れ、研究紀要の提供と説明

- 中学校夜間学級設置準備協議会への参加を通じた情報提供等関係自治体との連携強化

【6月】

- 夜間学級担当者会議の実施

内容：職員研修「多様な生徒への理解と対応」

講師：本校スクールカウンセラー

目的：精神疾患や障害等についての理解を深め、生徒に寄り添った丁寧な指導や対応につなげていく。

【成果】障害について知り、生徒が直面する困難やその背景と対応について、以下の4点を中心に学ぶことができた。

- ① 不登校…原因はさまざまで、それにより対応は異なる
 - ② 精神疾患…本人が困りごととして共通認識しやすいことから声をかける。本人が話をしてくれた時は労い、次につなげる、医療との連携（不調時の対応）、教員一人で抱えこまないなど
 - ③ 発達障害…特性にあった対応。自分で自分の特性を理解して、周りの人に助けを求められるようにすることを目指す。見通しを伝える、ショートステップに区切る、クールダウンの場の工夫など
 - ④ 多様性の問題…個々のセクシュアリティを尊重。日頃の言葉遣い、環境への配慮。話し手の気持ちを否定せずに聴く。話してくれた意図を聞く。必要な場合は、医師やカウンセラー等につなぐなど
- 経済的負担を考慮した効果的な学校行事や校外活動等の在り方について
 - ・芸術鑑賞、球技大会の検討・準備
 - 相模原市教育委員会と夜間中学開設にあたって必要となる学校経営に関する情報共有
 - 中学校夜間学級設置準備協議会への参加を通じた情報提供等関係自治体との連携強化

【7月】

- 夜間学級担当者会議の実施

内容：生徒情報の確認、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」における指導上の工夫や課題について、評価・評定について

【成果】以下の3点について確認、共有することができた。

- ・特性のある生徒の状況を共有し、個に応じた指導を通し、褒めて伸ばすことを確認。
- ・学校行事（芸術鑑賞）と連動した教科指導について

	<ul style="list-style-type: none"> ・学年内での学力差についての対応 ○ 経済的負担を考慮した効果的な学校行事や校外活動等の在り方について <ul style="list-style-type: none"> ・遠足、芸術鑑賞、球技大会の実施及び振り返り ・体育祭、文化祭の検討・準備 ○ 相模原市教育委員会と夜間中学開設にあたって必要となる学校経営に関する情報共有 ○ 学級担任との保護者面談（三者面談） <ul style="list-style-type: none"> 目的：一人ひとりの生徒の現状について把握し、自己実現に向けた手立てについて検討する。 内容：学習について、長期休業中の様子について、生活や体調・仕事・心配事について、学校生活における不安について、卒業後の進路について など。 【成果】学習について、生活や仕事との両立について、またコロナ禍における心配事等、保護者とともに振り返ることで状況を共有し、課題を明確にすることができた。今後の見通しや目標をもつことができた。 ○ 中学校夜間学級設置準備協議会への参加を通じた情報提供等関係自治体との連携強化 <p>【8月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校夜間学級設置準備協議会への参加を通じた情報提供等関係自治体との連携強化 <p>【9月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 夜間学級担当者会議（8月度）の実施 <ul style="list-style-type: none"> 内容：生徒情報の確認、今後の教育活動について、ミニ研修「Chromebookの活用について」（夜間ICT担当より） 【成果】今後の段階的な教育活動の再開について、さまざまな状況を想定しながら、共有することができた。臨時休業を想定したオンライン学習の準備を進めるにあたり、生徒が使用するChromebookの活用についての研修を行ったことで、その後の授業での活用にもつなげることができた。 ○ 学級担任との教育相談（二者面談） <ul style="list-style-type: none"> 目的：一人ひとりの生徒の現状について把握し、自己実現に向け手立てについて検討する。 内容：学習について、長期休業中の様子について、生活や体調・仕事・心配事について、学校生活における不安について、卒業後の進路について など。 【成果】長期休業中の生活の変化や学習について確認し、今後の目標や課題について共有することができた。 ○ 経済的負担を考慮した効果的な学校行事や校外活動等の在り方について
--	---

- ・ 体育祭は 10 月に延期
- ・ 文化祭、修学旅行の検討・準備
- 相模原市教育委員会と夜間中学開設にあたって必要となる学校経営に関する情報共有
- 夜間学級担当者会議（9 月度）の実施
内容：生徒情報の確認、今後の教育活動について、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」における指導上の工夫や課題について、習熟度別少人数授業の在り方について、学習支援サポーターによる支援の方法について、指導方法の確認（各教科担当）。

【10 月】

- 夜間学級担当者会議の実施
内容：職員研修「教育課程研修～より良い学びを目指して」
講師：教育課程推進室 首席指導主事
目的：新教育課程の内容を確認し、夜間学級での学びについて考える。

【成果】以下 3 点について学ぶことができた。

- ① 資質・能力の三つの柱…予測困難で変化の激しい、かつグローバル化が進展する社会にあって、どのように向き合い、どのような資質・能力を育成していくべきか。また、一人ひとりが幸福な人生を生きるためには、どのような力を育ていくべきか。
 - ② 夜間学級での学び…自分の授業で育成する生徒の「資質・能力」とは何か。自分の授業は学校教育目標にどのように寄与できるか。
 - ③ 学習評価…学習評価は誰のため。評価規準、評価方法の妥当性。三観点の評価について。配慮が必要な生徒の学習評価について。
- ・ 新教育課程の内容を夜間学級での学びという視点から考え、学ぶことができ、各教科の授業のあり方を見つめ直すことができた。
- 経済的負担を考慮した効果的な学校行事や校外活動等の在り方について
 - ・ 社会見学は12月に延期
 - ・ 体育祭、文化祭への参加及び振り返り
 - ・ 芸術鑑賞の検討・準備
 - 相模原市教育委員会と夜間中学開設にあたって必要となる学校経営に関する情報共有
 - 横浜市公費による英検実施（3 年生）

【11 月】

- 夜間学級担当者会議の実施

内容：生徒情報の確認、今後の教育活動について、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」における指導上の工夫や課題について、習熟度別少人数授業の在り方について、学習支援サポーターによる支援の方法について、指導方法の確認（各教科担当）。

【成果】10月に開催した教育課程に関する研修を生かし、一人ひとりに丁寧に寄り添いながら、夜間学級での学び、授業で育成する資質・能力という視点で、各教科から取組や意見が交わされるようになった。

- 経済的負担を考慮した効果的な学校行事や校外活動等の在り方について
 - ・社会見学の検討・準備
 - ・修学旅行、芸術鑑賞の実施及び振り返り
- 「相模原夜間中学」開校に関する情報共有、相模原市教育委員会による視察の受入れ、日本語教材「みえこさんの日本語」の資料説明
- 中学校夜間学級設置準備協議会への参加を通じた情報提供等関係自治体との連携強化

【12月】

- 夜間学級担当者会議の実施
内容：職員研修「蒔田中学校・夜間学級の生徒に身につけさせたい力」
目的：夜間学級のよさと課題を、グループワークを通じて共有し合い、生徒に身につけさせたい力を考え、中期学校経営方針策定に活用していく。
【成果】生徒のよさや課題を話し合う中で、教職員それぞれの生徒に対する思いを知ることができた。その上で、個に応じた効果的な支援や学力向上について話し合うことができ、来年度はもちろん、明日からの教育活動に生かせる充実したグループワークができた。
- 経済的負担を考慮した効果的な学校行事や校外活動等の在り方について
 - ・社会見学の実施及び振り返り
- 横浜市公費による英検実施結果の分析
- 3年進路面談実施（三者面談）
目的：一人ひとりの生徒の現状について把握し、自己実現に向け手立てについて検討する。
内容：学習について、生活や体調・仕事・心配事について、学校生活における不安について、卒業後の進路についてなど。
- 相模原市教育委員会と夜間中学開設にあたって必要となる学校経営に関する情報共有

- 中学校夜間学級設置準備協議会への参加を通じた情報提供等関係自治体との連携強化

【1月】

- 夜間学級担当者会の実施
内容：生徒情報の確認、感染拡大に伴う今後の教育活動について、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」における指導上の工夫や課題について、年間指導計画の作成について、学年末の評価・評定について。
 - 経済的負担を考慮した効果的な学校行事や校外活動等の在り方について
 - ・球技大会の検討・準備
 - ・感謝を伝える会の検討・準備
 - ・卒業証書授与式についての検討・準備
 - 相模原市教育委員会と夜間中学開設にあたって必要となる学校経営に関する情報共有
 - 学級担任との保護者面談（三者面談）
目的：一人ひとりの生徒の現状について把握し、自己実現に向けた手立てについて検討する。
内容：1年間の振り返り、学習について、生活や体調・仕事・心配事について、学校生活における不安について、卒業後の進路について など。
- 【成果】1年間の学校生活を保護者ととともに振り返ることで、3年生は卒業とその後の進路について、1・2年生は次の学年に向けての準備・意識づけの場とすることができた。

【2月】

- 夜間学級担当者会の実施
内容：生徒情報の確認、感染拡大に伴う今後の教育活動について、「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」における指導上の工夫や課題について、習熟度別少人数授業の在り方について、学習支援サポーターによる支援の方法について、指導方法の確認（各教科担当）。
 - 経済的負担を考慮した効果的な学校行事や校外活動等の在り方について
 - ・球技大会の実施及び振り返り
 - ・感謝を伝える会の検討・準備
 - ・卒業証書授与式の検討・準備
 - ・入学式の検討・準備
 - 調査研究のまとめ及び研究紀要の作成
(校内90部、関係機関40部、保存用20部)
- 【成果】生徒の文集の部分については、この1年間の日本語能力の向上、一人ひとりの頑張りや夜間学級に対する思いを確

	<p>認することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 相模原市教育委員会と夜間中学開設にあたって必要となる学校経営に関する情報共有、相模原市教育委員会による視察の受入れ ○ 中学校夜間学級設置準備協議会への参加を通じた情報提供等関係自治体との連携強化 <p>【3月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 夜間学級担当者会の実施 内容：生徒情報の確認、年間総括、研究紀要の発行、次年度の教育課程について ○ 経済的負担を考慮した効果的な学校行事や校外活動等の在り方について <ul style="list-style-type: none"> ・ 感謝を伝える会の実施及び振り返り ・ 卒業証書授与式の実施及び振り返り ・ 入学式の検討・準備 ○ 相模原市教育委員会と夜間中学開設にあたって必要となる学校経営に関する情報共有
--	---